

大昌建設(株)

高所法面掘削の新工法

滝沢ダム地すべり対策で威力

大昌建設(株)(本社・千葉県)が開発した高所法面掘削の新工法が滝沢ダム(大滝村)の地すべり対策工事(ウ沢下流地区)で威力を発揮している。

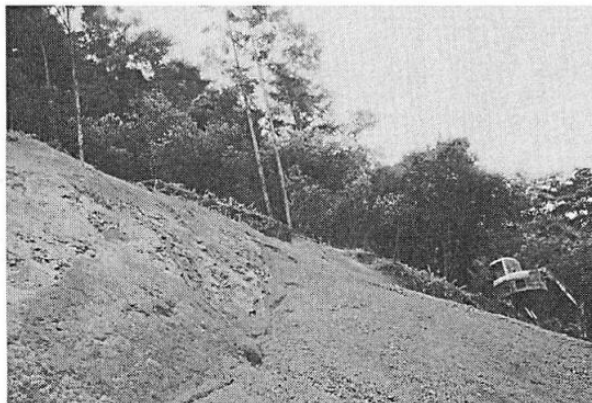
高所法面の切取り、切崩し、掘削、伐根、

整形、既設モルタルの取り壊し作業等を同社独自開発のロッククライミングマシンを使って施工しており、従来の掘削機による危険度の高い高所作業や、人力による作業を、ロッククライミングマシン

ンで、迅速かつ安全に施工している。軽石・崩壊等災害のおそれがあり、非常に危険な作業現場では、ラジコン(遠隔操作)によるロッククライミングマシンで施工することも可能だ。

同工法についての問い合わせは、同社営業本部(☎0475-3210077または090-8891-4971、金子)まで。

なお、このほか同社ではアンカーロックマシン(ロックホルト削孔機)による無足場削孔の新工法や第8回中小企業優秀新技術・新製品賞を受賞した小型ロッククライミングマシンについても特許を取得済み。



独自開発のロッククライミングマシンによる施工写真